

みんなの声をまちづくりに



(仮称)第四次白石市総合計画を 策定しています

白石市では、「くらし日本一のまちづくり」を目指して、本市独自のまちづくり事業を含め、数多くの施策を推進していますが、この基になっているのが、第三次白石市総合計画（ホワイトプラン）です。

現在、新世紀に向けた新しい「まちづくり指針」（第四次白石市総合計画）の策定作業を進めています。今月号では、これまでの経過やこれからの予定をお知らせします。

Q. なぜ、総合計画を策定するの？

A. 本市の「地方行政を進めるに当たって、そのときどきの地域課題を解決するだけでなく、長期的な視野に立って、市民の声を適切に反映した経営方針を定め、それに沿って、しっかりと着実にまちづくりを進めよう。」という地方自治法の趣旨に基づき、策定するものです。

Q. 総合計画の期間は？

A. 現在の総合計画（ホワイトプラン）は、昭和六十三年度に策定し、平成二十二年までの十年計画を予定しています。

Q. 総合計画の構成は？

A. 総合計画は①基本構想②基本計画③実施計画で構成されます。

①基本構想は、目標年度（平成二十二年）までの将来展望の方向性を示します。

②基本計画は、基本構想の目標達成のための施策などを示します。

③実施計画は、基本計画に基づき、具体的な事業の三カ年分を毎年見直しながら推進するものです。

Q. 市民の意見はどのように反映されるの？

A. 市民の皆さんがまちづくりについて、どのように考え、どのようなことを期待しているかを把握するため、次の調査などを実施しています。

「市民意識調査」

平成九年十一月
二十歳以上、千五百名、無作為抽出、回答率六五・五%

市民意識調査の結果を受けて、「市民の健康と医療福祉に関するアンケート調査」

平成十年三月
二十歳以上、千名、無作為抽出、回答率七四・七%

Q あなたの地域をよくするのに、どんなことが重要ですか？

全世界を対象として、

「市民意向調査」

を実施しました。

平成十二年二月

- ・対象者数 一、九七六世帯
- ・調査方法 自治会協力による配付回収
- ・回答数（率）五、九三二（四九・五%）

市民意向調査の結果については、別途自治会を通じて皆さんにお知らせする予定です。

一例として、「あなたの地域をよくするのに、どんなことが重要ですか？」の問についての回答結果は左記のとおりです。

- 1位 医療施設
- 2位 道路整備
- 3位 高齢福祉

	1位	2位	3位
白石市全体	医療施設	道路整備	高齢福祉
白石地区	医療施設	高齢福祉	道路整備
越河地区	道路整備	医療施設	下水道等
斎川地区	医療施設	道路整備	高齢福祉
大平地区	道路整備	医療施設	高齢福祉
大鷹沢地区	道路整備	医療施設	交通便利
白川地区	道路整備	医療施設	交通便利
福岡地区	医療施設	道路整備	下水道等
小原地区	医療施設	交通便利	高齢福祉

医療施設：病院、医院などの医療、救急施設および体制
道路整備：道路や橋などの整備
高齢福祉：高齢者福祉施設の整備
下水道等：下水道や雨水排水などの整備
交通便利：交通（電車やバスなど）の利便さ

みんなの声は（市全体として見ると）

みんなとまちづくり会議

自分たちの地区の自慢できるところ、改善したいところなどについて、数班に分かれての意見交換を行い、最後に各班からの発表を行いました。



数班に分かれての意見交換
「おらほの地区の自慢できるところは……」



班ごとに意見発表
「私たちの班では……」

Q. まちづくり会議は一回で終わりの？

A. 第一回まちづくり会議は、三月中旬～下旬に市内十八会場にて開催し、六百七十七名（うち女性百八十四名）の市民の皆さんに参加いただきました。

市民の方々とひざを交えた意見交換では、発言者の経験や知識、価値観による相違も当然に予想され、また、発言に慣れた方、声の大きい方だけの意見だ

けでなく、参加者全員が、平等に時間を使用、自由な意見の交換を行うため、ワークショップ手法により開催しました。

これらの結果概要については、五月二十八日、中央公民館で開催された「まちづくりフォーラム」で紹介されました。第二回まちづくり会議は、七月初旬に計画しております。ぜひ、ご参加ください。



「やるのか、やらないのか」「そんなの理想論じゃないか」と即結果、成果といううなご意見もありましたが、いろいろな方がいろんなお考えを持って、ああじゃない、こうじゃないと議論する。夢の構築までのそのプロセスを楽しむことが私は好きです。」

まちづくり会議参加者（寿山地区三十代女性）の感想でした。

総合計画に関するお問い合わせは振興課企画係

☎ 22 1324 へ